

令和5年度 男女共同参画審議会議事録要旨

日 時	令和5年12月26日(火) 18:00~19:30
場 所	佐世保市男女共同参画推進センタースピカ 研修室1
出席者	<p>〔審議委員〕 大庭委員(会長)、辻委員、伊藤委員、吉原委員、牛島委員、長島委員、永田委員、木村委員、前川委員、伊澤委員、中村委員、山崎委員 ※委員数20名のうち半数以上(12名)の出席があるため会議開催可。(条例24条)</p> <p>〔事務局〕 中西部長、坂口課長、松尾主査、川崎主査、竹下センター長</p> <p>〔関係課〕 感染症対策課 島田課長、山邊補佐、服部主任技師 子ども保健課 吉浦係長</p> <p>〔傍聴者〕 なし</p>
議 題	1. 令和4年度佐世保市男女共同参画計画推進状況について 2. 男女共同参画推進センターの事業報告について 3. その他 意見交換「性教育に関する市の取組みについて」
資 料	1. 令和4年度佐世保市男女共同参画計画推進状況報告書 2. 佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」事業報告書 3. 事前質問及び回答 4. その他 意見交換資料
開 会	1. 開会 2. 事務局挨拶(市民生活部長) 3. 委員・事務局紹介
議 事	4. 議事 ★会長 ●委員 ○事務局 ◎関係課 ★会 長 議事を進行する。本日は議題が「令和4年度佐世保市男女共同参画計画の推進状況について」「男女共同参画推進センターの事業報告について」「その他」となっている。 議題ごとに事務局から説明を聞き、その後、委員には意見・質問を伺いたいと思う。それでは議題1の事務局説明を求める。
議題1	議題(1) 令和4年度 男女共同参画計画推進状況について ○事務局 資料(推進状況報告書及び事前質問回答表)により説明 ★会 長 委員から質問・意見があれば挙手の上お願いする。

議題 1

●委員 報告書3ページだが、審議会委員40%に対して、29.1%というのが気になった。性差は今の時代あまり言うてはいけないのかもしれないが、やはり男性ならではの女性ならではの価値観、着眼点、気づきがあると思うので、今後40%を目指していただきたいと思う。また、せっかく選ばれた女性がただ座って意見を言わずに終わるのではなく、自分の立場で意見を言うことで、女性がいた方が男性では気づかないところもあったというふうに展開できるのではないかと思う。選ばれて座っている以上は何か意見を言って帰るような気持ちで接したらいいのかなと思う。

報告書4ページの保健師の乳児家庭全戸訪問に関してだが、在職中に保健師が真夏に新生児の体重計を持って一生懸命訪問されている姿を見て感激し、こんな暑い日も寒い日も雨の日も行くのか尋ねたら行くとの返事だったが、こまめに体重計を持って訪問しているということは知らない方も多いと思う。一人ひとりの保健師の努力で、母親にとっても話を聞いてもらったり、見てもらうことで安心され、たとえ時間が短くなったとしても良くなっていくと思うので、皆さんにも理解していただきたいと思った。

○事務局 1点目だが、男女の人口は半分半分なので、そういったところに近づける努力が必要かと思う。市においてはそれに近づけるために本年度指針を作っており、それに基づいて上げていくよう努力して参りたい。令和5年度からなので引き続き推移を見守り報告させていただきたい。

2点目は、実際に職員が頑張っているところが見えないところもあるので、そういうところもこういう場でもご紹介させていただきながらご協力いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

●委員 PTAでは、今は共働きの世帯となっており、昔は母親が家にいたが、今は父親、母親が帰ってきた家にはいない。月曜日から土曜日までは保育園という機能がしっかり充実していて、5時6時で早めに終わって子どもを迎えに行く。ただサービス業に携わっている親は土日が休みではない。平日はどこかで休みだけど日曜日はどうしても子どもを預けられるところがないため、サービス業での女性の役職者というのは難しいのではと思っている。都会になると日曜日でも開いている保育園などがあると聞いているが、佐世保にはほとんどないような状態だと思っている。その辺りの充実を図ると、サービス業に携わる女性の役職者が出て、女性の活躍の場がどんどん増えていくことにつながるのではないかと思う。働く女性を見ていると、日曜日に子どもを預けて、安心して仕事ができる環境ができればいいと感じた。

○事務局 佐世保市子ども未来部の政策の中でも小さな子どもたちは、ファミリーサポートセンターというような民間の団体のご協力を得て、そこで見てもらうことができ

議題 1

るが、大きくなると土曜日、日曜日見てもらうところがないというようになる。小学校低学年頃が親にとっては一番心配だと思う。高学年になると留守番とか祖父母のところに 1 人でも行けるようになってくるのだろうが、その辺の境目が課題だと思っている。国も来年度に向けて放課後児童クラブにも力を入れると報道もあっており、子ども未来部にもご意見をお伝えしたいと思う。

●委員 1 点目、報告書 4 ページの「スピカ」で実施するセミナー、講演会等の参加者数のところだが、「スピカまつり」というのが反響が大きく、参加者も多くて本当に充実していると思うが、評価で「今後は参加者数を目標とするイベントから社会情勢や地域課題を見据えたテーマ設定や、ターゲットを絞った企画を行うなど量から質へ転換する必要がある。」とあるが、具体的な施策・内容を知りたい。2 点目は、質問票で出していた「障がい児に対する性教育」のところだが、障がい者に対して性教育というのは、理解するのも指導するのも難しいし、障がい者の発達段階においてのレベルに応じて指導するのも大変だと思っている。保護者との連携としては、「家庭でも子どもと性に関する話をしていただけるよう、指導内容をお知らせしている。」ということだが、なかなか障がい者の方へ、家庭で性に関する話をすることはどちらかというところタブー視されているのかという感じがする。どこまで言っているのかとかかわかるのだろうかとか疑問と心配が出てくる。学校を出てから例えば障がい者施設とか福祉施設とか社会に出た時、施設の職員から被害を受けたとか聞くので、学校の段階でどこまで指導教育しているのか知りたい。事件が起きた時にたきつけるように話題になっているような感じがしているし、社会的な問題も色々出てきている。

○事務局 1 点目の量から質への転換ということで、今まではセミナーという形で参加者を募集して、興味のある方は参加してくださいというふうに取り組んできたが興味のある方しか参加されないというのがあり、人の意識を変えるように、興味のない人のところに出前講座とかで出向き話をし、理解を上げていく必要があると思っている。今行き始めているが、大学生や民生委員とかの集まりに出向いていき今までのターゲットと違うところに光を当てて、活動をしていきたい。2 点目については、庁内で性教育庁内連絡会を立ち上げており、関係課と協議をしながら、進めていきたいと思っている。そういったところの活動を踏まえて今後報告させていただきたい。

●委員 4 ページの男女平等になっていると感じる人の割合のところ、**「実施方針を変更したために、選択肢が異なっているため参考値としている。」**となっているが、毎年行うアンケートならそれで比較検討できるが、アンケートは毎年実施するものではなく、比較検討するのが何年後かになってしまい比較検討ができないというリスクを負ってまで変更した**選択肢に**どういうものが**あったのか** 1 つだけで

<p>議題 1</p>	<p>も例を挙げていただきたい。</p> <p>○事務局 アンケートの中で設問の仕方を以前は平等感について、「平等である」という選択肢としていたが、今回は「性別によって差がない」と表現を変えている。それと選択肢に「わからない」を加えている。以前は「わからない」を外していたので、どちらかに振り分けられていたが、実際に「判断ができない」「わからない」という方もいるということで、選択肢を1つ加えたことで、そこにウェイトが流れてしまい、割合が1割ぐらい落ちてしまった。前回と比較するのであれば「わからない」を除けば同じような状況が見えたのかもしれないが、現状に即した選択肢を加えようということを入れた結果、低くなった。今後は、比較できるように同じ選択肢を用いるようにしたい。</p> <p>★会 長 次の議題に移る。</p>
<p>議題 2</p>	<p>議題（2）佐世保市男女共同参画推進センターの事業報告書について</p> <p>○事務局 資料(男女共同参画推進センター「スピカ」事業報告書)により説明</p>
<p>議題 3</p>	<p>議題（3）その他 意見交換「性教育に関する市の取組みについて」</p> <p>◎関係課 人権男女共同参画課・感染症対策課・子ども保健課より資料に基づき説明</p> <p>★会 長 意見交換を行う。質問・意見があれば挙手の上お願いする。</p> <p>●委 員 幼児向けの命のお話会は良い取り組みだと思う。2009年にユネスコが推奨している「国際セクシャリティ教育ガイダンス」では、5歳から性教育はすべきだとなっており、人間関係、ジェンダー、人権など幅広い内容を扱う包括的セクシャリティ教育が推奨されていると読んだが、日本はそういう取り組みが遅れていると言われているので、ガイダンスに則ったような包括的性教育をしていただきたい。また、各年齢に応じた取り組みを、難しいとは思いますが検討して取り組んでいただきたい。そして、やはり親に対する教育、まだ早すぎとる言う方、思う方もいるかもしれないが、子どもが何か言ってきた時が、一番教育しやすいとあったのでそういう方向でやっていただけたらと思う。</p> <p>所属団体とスピカとの共催で今年7月の終わりに「子育て講演会」を開催し、0才から5年生まで参加され、パパもママもいらしたが、講師が性教育にも少し触れられて、「お母さんの卵と3億個の精子の中から一番優しくて素敵な精子が一つだけ選ばれて生まれてきたんだよ。だから絶対に幸せにならなければならないだよ」と話されたが、だれも違和感なくスーッと入られたので、そういうのはすごく大事だなと思った。</p>

議題3

◎子ども保健課

子ども家庭庁から子どもや保護者等へのプライベートゾーン等に関する教育啓発をするよう今年度また通知が来ているので、できるだけたくさんの市内の園でお話会が実施できるようPRを行いたい。

- 委員 佐世保市の10代の人口妊娠中絶率が国、県に比べて高いことが問題になったとあるが、たぶん分子が10代の中絶数で分母が全体の中絶数だと思うが、率ではなく10代の中絶数が数的に多いのか少ないのか疑問に思った。
2001年、2003年が急激に高く30%となっているが、その前は20%もしくはもっと低かったのではないかと思う。この原因は何だったのか、特殊要因があったのだろうかと思う。佐世保市が取り組むわけとして「このような現状を踏まえ早期から正しい知識を伝えることが必要。」と書いてあり、油断すればまた増えるような感じがするので、幼児期からのいのちのお話会とか具体的に書いてあるので継続が必要で、そこら辺が課題ではないかと思ったのでお尋ねしたい。

◎子ども保健課

統計に関しては、県の統計を抜粋しており、数値のデータはない。

過去に30%超えた時の分析も、そのあと平成13年に思春期の現状や意識を把握するための市民アンケート調査を行った。そこで中高生の性に関する問題意識が非常に低いということと、性行動をする年齢が高校生ではなく中学生とか低年齢化しているという課題が見えてきたので連絡会等を立ち上げるきっかけになったと聞いている。

- 委員 小学校としての意見を言わせていただきたいと思う。子ども保健課の取組みは小学校教職員にとってはとてもありがたいと思っている。小学校の場合は保健という教科ができ、理科、生活科、学活、道徳などで性教育に取り組んでいるが、やはりプライベートゾーンを小さいときから知っていれば、特にこどもたちのトイレの時にトラブルが起こるのを防ぐことができるのではないかと感じた。令和4年度の進捗状況ではお話を24回行い393人が参加しているが、これをどんどん広げていって保育園、幼稚園と連携していただき、そのあとに小学校の方にも繰り上がっていくと一貫性として、さらに中学校へとつなげることができるのかなと思っており、市が取り組んでいる取組みということで期待できると思うので参加させていただきながら検討して頂けたらありがたい。

◎子ども保健課

佐世保市においては、そういう取組みを市内連絡会も踏まえて、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校まで、健康づくり課と感染症対策課は大学生向けに一貫した取組みを今後とも皆さんと協力しながら行っていければと思う。

議題3

園についても新規園の開拓ということで園長会の方にもお話をしたり、PTA に関係にも今回の養成講座の案内をお配りする予定なので、是非皆さんに周知 PR をしていただきたいと思う。

- 委員 いのちのお話会についてお伺いしたい。人工中絶にかかる小さいころからの教育とは別にいのちの話は小さいころにしてもらうのはとてもいいことだと思う。年中年長児の申し込みがあった保育園からとなると、行きわたっていないところがあり、その時に聞けなかった子たちがいるのかなと思う。申し込みがない園がなかったり、多かたりするのか。教えに行かれる方の数を考えたら全部の年中・年長にお話をするのは難しい感じなのか。

◎子ども保健課

今、31件申し込みがあり、コロナ前からも平均してそれぐらい実施していた。各園の行事や保育参観に合わせてできるだけ多くの保護者にといいことで調整をしていただいている中で、なかなか全員にといいのが行き届いていない状況だが、未就園で聞けなかったとかそういう声もあり、人権男女共同参画課とそういう話も庁内連絡会の中ででているので、違うスペースで色々な人が聞けるような企画を今後考えている。

- 事務局 来年度は、幼稚園からの申し込みではなく、佐世保市の保護者と子ども向けにスピカにおいて「性教育といのちのお話会」というセミナーを子ども保健課と一緒にできないかと考えている。

- 委員 小さな子どもたちが皆同じようにこういう話を聞けたら、自分の大切なこととか、自分や人を大切にすることが浸透していけばいいなと思いつながら伺っていたが、例えばオンラインで学校何校か結んでとか、今ならできそうな気がする。来てもらうのは大変だけれど5校同時に繋ぐなどオンラインなどコロナ禍で技術が上がったことを活用して頂けたらと思う。

- 事務局 その辺も踏まえて来年度に計画を工夫して実施したいと思う。

- 委員 性教育というのは、なかなか難しいが、小さい子から命の大切さとかそういうことをきちんと教えていくという姿勢は、大切で本当に大事なことだと思う。この報告書を見せてもらった時に、性というものをどうとらえるかという中で、どうしても感染症対策とか中絶とかそういうようなことが中心になっているように感じる。この2つもすごく大切なことだが、今年話題となったジャニーズの問題あるいは自衛隊のなかでのセクハラの問題にしても、人間をどうとらえるのかということで、性も人間の尊厳と切り離さないというそういう意味で包括的

議題3

な形で大きなスケールで性教育をとらえて、人間尊重の核となっている包括的性教育に向けて、広い形の性教育を是非検討していただきたいと思っている。

○事務局 人権男女共同参画課、感染症対策課、子ども保健課、学校保健課と庁内の性教育連絡会で色々な意見を出し合いながら、委員がおっしゃったような形で、少しでもできるような形に持っていきたい。ただ、なかなかすぐには実行できないかと思うが、できるところから各課の事業を担当しながら漏れがないよう市全体で取り組むべきだと感じるので、今後ご意見があればよろしくお願ひしたい。

★会 長 時間となったので、意見交換を終了する。
本日のすべての議題について審議を終わる。

閉会

5. 閉会

以 上